

平成29年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率		
一般会計	3,391,000	3,485,000	△ 94,000	△ 2.7		
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	547,638	557,516	△ 9,878	△ 1.8	
	後期高齢者医療	47,997	48,340	△ 343	△ 0.7	
	介護保険事業	505,302	477,271	28,031	5.9	
	公共下水道事業	185,983	177,248	8,735	4.9	
	小計	1,286,920	1,260,375	26,545	2.1	
	企業会計	簡易水道事業（収益的収支）	153,310	150,224	3,086	2.1
		簡易水道事業（資本的収支）	265,280	224,747	40,533	18.0
		小計	418,590	374,971	43,619	11.6
	合計	5,096,510	5,120,346	△ 23,836	△ 0.5	

■ 予算編成方針

愛別町は、平成27年度決算において、実質収支では99,952千円の黒字となっており、また、財政健全化法に基づき公表が義務付けられた4つの財政指標についても、実質公債費比率が8.1%（前年度比△2.2%）将来負担比率が11.2%（前年度比△31.2%）と、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内ではあるものの、これまでの国の政策である地方交付税の増額等による標準財政規模の拡大が大きな要因であると言えます。

近年の地方交付税については、「別枠加算」部分の「平時モード」への切り替え等により、実質的には減額となっており、今後、標準財政規模の縮小による財政指標の著しい悪化が見込まれます。また、多様化する住民要望に対応するための行政サービスの充実、財政健全化の指標には表れないような公共施設等の老朽化による将来の町財政への影響を鑑みると、当町の財政状況、財政の持続可能性は、極めて厳しい状況にあると言えます。

平成29年度においては、骨格予算として予算編成を行いました。第10次愛別町振興計画の3年目となり、これまでの進捗状況の検証を十分に行い、基本テーマの『ふれ愛と活力豊かな、夢のある愛別づくり』の実現に繋がる施策への重点的な予算配分とし、これまでの行財政改革による成果を継承しながらも、効果的かつ効率的に、さらなる将来の愛別づくりの実践を反映させられる予算編成を行いました。

